



人差し指の温もり～学び合いの意味～

授業で習う内容は、初めてのことばかり。学習内容の理解と定着だけを考えるなら完全個別の学習がいいかもしれません。しかし、全員で受ける一斉授業と学び合いには、もっと大切な意味があります。その一つが、心の育ちです。友達のことを理解し、想い、ともに成長していく・・・「やさしい子」が育つ大切な場なのです。昨日の1年生の授業。算数復習プリントでの学びの時間。子どもたちは、時には指やブロックを使いながら、一生懸命に解いていました。

そこで見つけた「人差し指の温もり」！これは、友達に問題の解き方等をやさしく説明する時に見られる素敵な姿なのです。自然に動かされた人差し指に、「友達のことを大切に想い、行動する「人としてのやさしさ」が表れているのです。

子どもたちは様々な場面で、お互いに助け合って生きています。



和
氣
香
風

黙想で始める授業～心落ち着かせて授業に臨む～

昨年度から取り組んでいる授業前の「黙想」。子どもたちにすっかり定着しています。

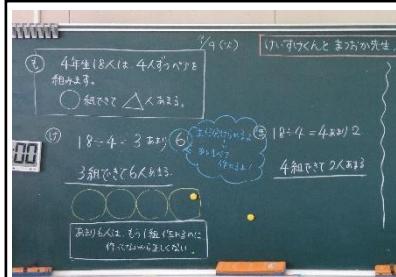
本校は、チャイムが鳴らない「ノー・チャイム・スクール」です。チャイムに頼らず、自分で時計を見て、自分の行動を決める。そこに主体性の土台が生まれます。

しかし、子どもですから、休み時間と授業時間の境目にけじめをつけることは難しいものです。だからこそ、黙想で始めて、心を落ち着かせて（切り替えて）授業に臨むようにしています。学力向上のための具体的手立ての一つ（学習規律の徹底）です。

3年生の黙想は、どこから見ても立派です。



最後の最後まで輝く授業と姿



3年生では、復習をする時、過去の板書写真を電子黒板に映して、内容を思い出す手立てとして使ってあります。中央の青チョークで書かれてある吹き出しがいいですねー。問題を解いていく上で貴重な考え方（子どものつぶやき）（まだ分けられるよ→あと1ペア作れるよ！）が書かれています。重要なつぶやきを吹き出しで表し、視覚化し、全員で共有しながら授業を展開する。頭の中の思考を、文字化・言語化することで、子どもの思考が明確になったり、強化されたり、たとえ思いつかなくても自分のものにできるのです。素敵な授業です。

次に5年生の授業。前期の復習です。写真手前には、黙々と一生懸命に問題に向き合う5年生のすてきな姿がはっきりと見られます。

さらに、奥を見てください。担任のところに列を作っています。ここに写っているのは、わからない問題をそのままにせず、質問して解決しようという積極的な姿なのです。担任に質問して、アドバイスやヒントをもらいながら、また問題にチャレンジしていくのです。人生の縮図のようですね。単なる学習。でも、将来生きていく上で大事な力を、このような一瞬一瞬で身に着けているのです。光り輝く姿です。

お礼と事故防止のお願い

保護者そして地域の皆様のご理解とご協力、ご支援のおかげで、前期終業式を無事に終えることができました。ここに厚く感謝申し上げます。秋休みに、子どもたちの大切な命を守るために、暮らし方のルールを確認し、事故等がないようにお願いします。

最後の給食見本に
興味津々な1年生

わくわく(^o^)

